



## 守山市 × 近江鉄道株式会社 守山駅前近江鉄道ビル（愛称：cocotto MORIYAMA）

### 「災害発生時における一時滞在施設の提供に関する協定」を締結

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：飯田 則昭）と守山市（市長：森中 高史）は、守山駅前近江鉄道ビル「cocotto MORIYAMA」を災害発生時における一時滞在施設として提供する協定を締結しました。

これは、令和5年1月に発生した大雪により電車の運行が停止した際に、守山駅において帰宅困難者が発生したことから、駅前立地であり即時性をもって受入れ可能な守山駅前近江鉄道ビル（愛称：cocotto MORIYAMA）でお役に立てるのではと検討し、申し入れをさせていただき協定の締結に至りました。

協定の概要は別紙のとおりです。

#### 締結式の様子

日 時 令和5年7月18日（火曜日）  
相手方 守山市（市長：森中 高史）  
（守山市吉身二丁目5番22号）



#### 協定により利用することができる施設

守山駅前近江鉄道ビル  
（愛称：cocotto MORIYAMA）  
（守山市勝部一丁目1番17号）



#### その他

- ・今回、締結する「災害発生時における一時滞在施設の提供に関する協定」は、守山市と民間企業との間で初となる締結。
- ・初めて守山市を訪れた方や通勤されている方にとっても、駅から近く、わかりやすい場所にあり、駅直通でアーケードもあることから、大雨や大雪の際でも、天候に左右されず一時滞在できる場所を提供できる。

## 【別紙】

### 「災害発生時における一時滞在施設の提供に関する協定」の締結について

#### 1 経緯

令和5年1月に発生した大雪により琵琶湖線が運行停止したことに伴い、守山市においても30余名の帰宅困難者が発生し、守山市としては、駅より500m離れた市有施設である「あまが池プラザ」を開放されましたが、雪の中で10分程度の移動は、体力的に不安な方もおられたため、一時滞在施設として駅周辺（徒歩2～3分圏内）で、夜間等も対応可能な施設を模索されていました。そのようなことから当社が所有する施設の一部を一時滞在施設として提供することを申し入れさせていただき、協定を締結いたしました。

#### 2. 相手方

守山市 市長 森中 高史（守山市吉身二丁目5番22号）

近江鉄道株式会社 代表取締役社長 飯田 則昭（彦根市駅東町15番1）

#### 3 内容

守山市と近江鉄道株式会社が、災害発生時等において、公共交通機関が運行停止するなどの事由により帰宅することが困難となった者が発生した場合において、近江鉄道が所有する守山駅前近江鉄道ビルの一部を一時滞在施設として提供し、帰宅困難者自身の安全を確保する。

##### （利用・供用できる施設）

- (1) 住 所 守山市勝部一丁目1番17号
- (2) 施 設 名 守山駅前近江鉄道ビル（愛称：cocotto MORIYAMA）
- (3) 供用場所 1階エントランスホールおよび2階廊下
- (4) 供用面積 126.16 m<sup>2</sup>（1階 71.86 m<sup>2</sup>、2階 54.30 m<sup>2</sup>）
- (5) 受入人数 約 50 名 ※1人当たり約 2.4 m<sup>2</sup>で算出

##### （協力内容）

災害時に守山市の要請をもって、次の事項について協力するもの

守山市からの要請が困難な場合は、近江鉄道の判断により、協力することも検討。

- (1) 1階、2階のエントランスを一時滞在施設の開設
- (2) 帰宅困難者の一時滞在施設への誘導
- (3) 帰宅困難者が使用するトイレ、水道水、一時滞在施設内の照明およびコンセント類等の設備の使用ならびに備品の提供
- (4) 守山市が支給する支援物資の帰宅困難者への提供
- (5) 帰宅困難者のうち、高齢者や障がい者、乳幼児、妊婦、遠距離通学の小中高生等の要配慮者に対する施設の提供
- (6) 外国人旅行者等への対応および施設の提供
- (7) 前各号の協力のため近江鉄道(株)不動産部員を1名手配

お問い合わせ先

近江鉄道株式会社 不動産部

TEL0749-22-3304（平日8：30～17：30）